

stage



今回のトークに再来八する吉増剛造氏。CD「石狩シーツ」(詩・朗読／吉増剛造)が好評発売中。

いまスペース・ベンが面白い。始動して三年。ようやくアブラがノッてきたのか。八戸の(つまり日本の)演劇史を塗りかえるような傑作が最近続出している。

長尾広海作品『蟻』(田中勉主演)はシジフォス神話の苦役を「リトルネッコ」反復」の愉楽に一変させたパンク演劇だったし、

音喜多由記子作品『イミテーション』(小屋敷暁ほか出演)はビグマリオン神話の血肉を「シミュラークル」模倣」の壊乱へと反転させたエヴァ演劇の秀作だったが、

つい先日の平度健悦作品『グリゲリスモグリ97春』(平度・中田出演)に至ってはサイバーパンク演劇のエヴァンゲリオン「福音」(フクインというオン)を奏でるものだったからである。これに2月の

リセでの「ソロシアター三人展」で最も反響のあった安達良春作品『ラグ』の4月青森公演ヴァージョンを加えればスペース・ベンの全容が掴めるだろう。

こうした動きに鋭敏に感応した公演が来たる7月5・6日、リセ

で行われる。これまで誰も試みたことのないジャンル「ダンス・オペラ」がそれである。総タイトルは『san・nai』。もちろん三

内丸山を過去の遺産としてではなく「アートの未来性」において照射しおとした企画だ。この公演の

第一の特色は、日本の若手作曲家の中で最有望株の港大尋(みなと・おひろ)氏がリセに一週間滞在の上、オペラの久米田順子やダンスの大久保・服部・工藤・大向・豊島和子らとセッションする

「アーティスト・イン・レジデン」方式にある。

第二の特色は昨夏に初来八し、三内丸山の印象を詩篇にまとめた吉増剛造(よしまさ)「こうぞう」氏のそのテクストを今回ようやく上演するという一年がかりのロング・アイにある。先日のNHK・TVでの「羽生善治との対談」で、

八戸にも吉増ファンが増えたとき、彼の本領は「宇宙的な胸さわぎ」に満ちた「翻訳性の詩法」にあると私は思う。海外でも引っぱりだこというのもうなづける話である。その吉増本人が、今回の公演に再来八する。

第三の特色は、三内丸山のキーワードである盛土「モリドあるいは(リビドー)生衝動に対する(モリド)希死衝動を近未来都市のスケールで考えてみようということである。編布「アンギンシカリ、イヌビエシカリ、ミミズシカリ。私などは「ウルシ」という語

感からついアポリジニの聖なる山「ウルル」を喚起されてしまう。はたして世界都市トキオはあと何年もつだらうか。縄文都市サンナイは千々五百年で「ホロビ」を迎えた。そのホロビが今よみがえる! 会場のリセはワンステージ80名がぎりぎりのキャパなので、お早めにご予約を。

ダンス・オペラ『san・nai』(さんない)公演案内

日時/7月5日(土) PM 3: PM 7. 7月6日(日) PM 1: PM 4

(※受付・会場は各30分前) 入場料/二千元(均一) 会場/ダンス・パレエ・リセ

問合せ/八戸市古常泉下14-18 (ゆりの木通り・河原木内科向かい) ☎45-9247 (高沢まで) 主催/リセ40周年企画委「カラント」・リセ父母の会

【演目(5作・上演順)】 (1)盛土(もりど)カピ

▼ダンス/工藤薫・大久保一恵・高橋陽子・田島千征▼デジタル・イメージ、サウンド・アーツ/安達良春▼コロオクラフイ/工藤薫

(2)板状(ばんじょう)土偶/編布文(あんぎんもん)

▼ダンス/畑中優季・和井田千佳・木村瑛梨・松倉春香・井上倫子/山本真由・松橋奈

穂子・田中裕子・戸村翠・田中銘志・山田梨沙・中野もと子・平沢智美・横町香子・中村佳代子▼コロオクラフイ/服部明子

(3)イヌビエII大浴え

▼テクスト/倉石信乃(詩人・写真史・横浜在住)▼ピアノ・ライヴ/港大尋(作曲家・演奏家・東京在住)▼オペラ・ヴォーカリゼーション/久米田順子(音楽家・八戸市民劇作オペラ協会)▼ダンス/大向真理子・工藤薫▼ヴォイス・パフォーマンス/安達良春▼ビデオ・シューティング/手藤茂泰▼コロオクラフイ/大向真理子

(4)道路(みち)の遠近を忘れたり

▼テクスト/吉増剛造(詩人)▼パーカッション・ライヴ/港大尋▼オペラ・ヴォーカリゼーション/久米田順子▼ヴォイス/田中裕子▼ダンス/大久保一恵・田島千征▼セノグラフイ/コロオクラフイ/豊島重之

(5)蚯蚓(みみず)丘を引く

▼ダンス/豊島和子▼ピアノ・ライヴ/港大尋▼ダイレクション/長谷川直行▼コロオクラフイ/豊島和子

■併設コロッケ「サイとサイ」の傍(かたわ)らで

日時/7月6日(日) PM 5: 30 場所/同会場(※チケットの半券を提示して下さい) トーク・ゲスト/吉増剛造(詩人)・守中高明(詩人・フランス文学者)・八角聡仁(著述家)

縄文に未来を照射する

詩・ダンス・音楽・サンナイ

演出家・豊島重之

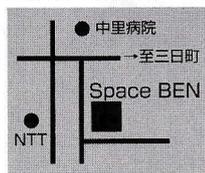
6月のFriday Amusement Negative Shop

■6日・13日・20日・27日 19:30~ 料金/¥500
「ひま人VOL. 10」 田中 勉一人芝居

「DJ」(ディスク・ジョッキー)という設定のみで、4人の脚本家の方々自由に書いていただいた作品です。脚本の出来上がり次第で公演順が入れ代わりますので、お問い合わせの上ご確認下さい。
【脚本4人ご案内(順不同)】しもさき博之(芸能田中組)・加藤健太郎(劇団やませ)・長尾広海(我楽多屋)・音喜多由記子(八高)
※FANSでは、出演者・スタッフ等広く募集しています。芝居・ライブ・ダンス、何でもOKです。ご連絡お待ちしております。

～金曜夜は、ほんつけナイト 観てナイト～

八戸市柏崎一丁目11-8 ☎&FAX 43-9876



朗読による劇空間・第2弾「賢治の世界」

大きな会場とはまた違って、すぐ目の前で演技を見れる稽古場での公演。演技する表情や声、音などを直に感じることができ、きつとあなたも「見た」という満足感が味わえるはず。さあ、今回の公演「賢治の世界」も稽古場で行われます。是非足を運んでみて!

■日時/6月20(金)・21(土) 19:00開演
■場所/劇団やませ稽古場 ■料金/大人1000円(当日1200円)・学生500(当日700円) ※チケットは、劇団やませ(電話申込み可)・八戸市民劇場にて販売。
【問い合わせ】事務局/八戸市鮫町下松苗場14 ☎33-3850 稽古場/八戸市青葉2-2-13 ☎44-8893